

## フィールド2 環境調和

次に、フィールド2 環境調和について、申し上げます。

まず、地球温暖化防止対策につきましては、新居浜市独自の環境マネジメントシステム（ニームス）の推進を図るとともに、地球温暖化防止、自然エネルギー利用への意識啓発と促進のため、家庭用燃料電池、蓄電池の設置に対する補助を実施いたします。

次に、墓地、墓園の管理につきましては、平尾墓園内の合葬式納骨施設を適正に管理し、平尾墓園の空き区画を、引き続き一般公募するとともに、管理料の再徴収に必要な管理料徴収システム構築等を進めてまいります。さらに、真光寺、土ヶ谷、黒岩の3墓地については、新たに返還区画の再使用に向け、区画の整備及び一般公募を実施してまいります。

次に、ごみの減量と3Rの推進につきましては、ごみ分別の定着と資源ごみの集団回収等を推進するとともに、家庭ごみの一部有料化の具体的な検討をすすめてまいります。

次に、廃棄物処理施設の内、清掃センターにつきましては、施設の延命化を図るための基幹的設備改良工事を平成29年度で完了いたします。

衛生センターにつきましては、老朽化対策として、公共下水道の普及に伴い、処理量が減少するし尿及び浄化槽汚泥を下水処理場で共同処理するための検討を行ってまいります。

次に、下水道施設につきましては、汚水の管渠整備として、郷地区や旦の上地区などで、汚水幹線や枝線の整備を進めるとともに、面整備として田の上、宮原町、北内町などで整備を行ってまいります。また、下水道事業経営の健全化を図るため、使用料の見直しについても進めてまいります。

また、下水処理場において平成28年度から2か年計画で実施している汚水ポンプ設備の改築更新工事と機械棟及び管理棟の耐震補強設計を行うほか、下水道事業業務継続計画を策定いたします。

また、公営企業会計の導入に向け、引き続き固定資産の調査及び評価や管理システム、財務会計システムの構築など、移行に向けた準備を進めてまいります。

次に、上水道につきましては、平成27年度に中間見直しを行った「新居浜市水道ビジョン」、管路更新・耐震化計画及び応急給水計画に基づき、効率的な老朽施設の更新や耐震化を推進し、ライフライン機能の強化及び整備を行うとともに、「水道ビジョン」に基づき、効率的な資金運用を行い、適切な事業

活動を推進してまいります。

また、瀬戸寿上水道問題につきましては、鋭意、瀬戸寿上水道組合との協議を重ね、早期の市水道との統合に向け、問題解決を図ります。

工業用水道につきましては、老朽化した施設の耐震化を含めた対応が必要なことから、配水管及び導水路について、工法等詳細検討を行い、更新事業を計画的に推進してまいります。